

病理

Pathology

【1】期 間 各コース内で実施

【2】担当教員（◎は主責任者）

病理学教員

責任者 ◎丸山理留敬（教授，器官病理学）

並河徹（教授，病態病理学）

【3】一般目標 [GIO (General Instructive Objective)]

- 1) 臨床医学，社会医学の学習ならびに診療に必要な基本的病変ならびに主要疾病の原因・病態成立機序・形態学的変化を理解する。
- 2) 疾病および患者に関わる問題を病理学的にとらえ，解決するために，臨床的問題と病理学とを結びつける態度，能力を養う。

【4】個別目標 [SBO (Specific Behavioral Objectives)]

- 1) 病理学総論の基本的知識，思考方法を確実に身につける。
- 2) 主要な疾病についてその原因，成り立ち，形態学的変化を病理学的に説明できる。
- 3) マクロおよびミクロ標本で形態学的変化を観察し，的確に記述できる。
- 4) 記述した形態学的変化をもとに，主要な疾患の診断ができる。

【5】成績評価の方法

病理学総合判定に合格すること。総合判定とは，①病理学講義・実習での勉学態度，②実習期間中もしくは期間終了後に計2回実施される病理実習試験の成績を合わせた通算成績による判定である。

【6】教科書・参考書

勉強に際して病理学総論，各論，病理組織アトラス等の図書を常に参照すること。